

第一三共品川研究開発センター見学会

平成24年11月29日（木）14：30～16：15 桜花会主催の標記見学会を開催した。参加者は応化専攻のB3学生42名と桜花会役員他3名の45名であった。

第一三共（株）品川研究開発センターは東急大井町線大井町駅から徒歩で約10分のJR大井町駅、品川駅、大崎駅に囲まれた場所にあり普段電車から標識を見ることができる。参加者は東急大井町駅改札口に集合して徒歩で訪問した。7階の会議室で研究開発業務部の樽野弘之グループ長から研究開発センターの概要についてスライドを用いて説明があり、続いて研究開発部門紹介ビデオが放映された。その後、質疑応答があり、第一製薬と三共との合併によるメリット、製薬企業に就職する場合今から勉強しておくことはないか、採用状況、国際化戦略（企業買収など）の意義など幅広い質疑応答があった。続いて2班に分かれて研究所内の見学を行った。見学箇所は（1）試薬管理室、（2）夜間実験室、（3）NMR室、（4）開発医薬品の分子ガラス模型展示フロア、（5）第一三共歴史展示室などであった。

見学会に当たっては斎藤靖弘氏、内藤覚氏（東工大OB）、但馬量造氏ほか関係者に大変お世話になり感謝申し上げる。

ようこそ第一三共品川開発センターへ
東京工業大学の皆様

研究開発センター概要説明
研究開発業務部 樽野: 14:30 ~ 15:00
研究開発部門紹介ビデオ
(第一三共の研究室は地球): 15:00 ~ 15:20
質疑応答 研究開発業務部 樽野: 15:20 ~ 15:40
研究所見学:

(見学コース)	(説明担当者)	(予定時刻)
380号館(合成実験室)	研究開発業務部 内藤G長	①15:45 ~ 16:15 ②16:20 ~ 16:50
700号館(第一三共歴史展示室)	田島氏	①16:20 ~ 16:50 ②15:45 ~ 16:15

2

第一三共の企業理念



革新的な医薬品を**継続的に**創出し、提供することで
世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する

患者さんの願いに応える新薬の創製



つくっているのは、希望です。

第一三共の研究開発は、グローバルファーマイノベーターとして、これまで築き上げた高品質かつ革新的な創薬の蓄積を発展させ、高付加価値のファーストインクラス、ベストインクラス製品を生み出すことで、人々の健康を改善し、世界標準となる治療法・予防法の確立に貢献する。

研究開発の
戦略ビジョン・ステートメント



第一三共の創業者



鈴木梅太郎

-ビタミンB1(オリザニン)の発見
-三共学術顧問



高峰譲吉

-タカジアスターゼの発見
-三共初代社長



慶松勝左衛門

-我国におけるサルバルサン(梅毒治療剤)の創製
-アーセミン商会の設立

Top 20 Pharmaceutical Companies in the World



Sales in 2011

Unit : million dollar

1	Pfizer	57,747	-1.3%	11	Bristol-Myers Squibb	21,244	9.0%
2	Novartis	47,925	14.1%	12	Takeda Pharmaceutical	17,556	7.2%
3	Merck	41,289	3.7%	13	Teva Pharmaceutical	16,689	3.5%
4	Sanofi	40,607	5.2%	14	Amgen	15,582	3.5%
5	Roche	36,439	-7.6%	15	Boehringer Ingelheim	13,976	4.4%
6	GlaxoSmithKline	34,293	-5.1%	16	Bayer Healthcare	13,774	-0.3%
7	AstraZeneca	32,981	1.4%	17	Astellas Pharma	12,523	1.6%
8	Johnson & Johnson	24,368	8.8%	18	Novo Nordisk	11,557	9.2%
9	Eli Lilly	22,608	4.3%	19	Daiichi Sankyo	11,535	-3.2%
10	Abbott Laboratories	22,435	12.8%	20	Chugai Holdings	10,106	4.1%

Source: IQVIA, Global 20 to Chugai

